

小学校6校、中学校2校の全4回で紹介します。

市内小中学校 英語教育の紹介

2020年（平成32年）に向けて、文部科学省による新たな英語教育として、小学校3年生から外国語活動の必修化、5年生からは教科となるなどの計画がされています。グローバル化に対応できる人材の育成をめざし、英語によるコミュニケーション能力を確実に養うことをねらいとしています。

小諸市では、「英語教育強化地域拠点」として文部科学省の指定を受け、新たな英語教育の実現のための研究開発に先行して取り組んでいます。“Use English and Challenge the World!”を合言葉に、コミュニケーションを基盤に置いた言語活動をしていくことで、実践的な英語力を身につけ、英語で考えや気持ちを伝え合おうとする子どもたちの育成をめざしています。

研究に取り組んでいる市内各校の英語授業の様子をご紹介します。

▼問い合わせ先 学校教育課 学校教育係

千曲小学校

やる気満々！元気な千曲っ子



千曲っ子は言語活動を思い切り楽しみます。英語を使いながら様々な活動をしていくうちに、自然とリアクションワード（Wow, Nice, Great, などの反応する言葉）が出てくるようになりました。相手に聞き返すAnd you ~?やHow about you ~?などのフレーズもだんだん言えるようになってきています。



保護者の方のサポートも

普段は担任の先生とALT（外国語が母国語の先生）がチームで授業をしますが、担任の先生一人の授業の時には、保護者の木藤カロラインさんが授業をサポートしています。スコットランド出身のカロラインさんは、時に現地の文化に触れることのできる教材やゲームを用意し、楽しみながら学べる英語の授業の創造に貢献しています。



坂の上小学校

実生活に基づいた表現を

先生達は、もっと楽しい、分かりやすい、実生活に役立つ授業をめざして、授業づくりと教材研究を続けています。

先日の5年生の授業では、生徒一人ひとりが『坂の上パスポート』を持ち、自己紹介や相手に好きなものを問うにはどうしたらよいかを知り、練習しました。

1年生の授業では、フレッシュな子どもたちが果物の名前を覚えながら英語での活動を楽しんでいました。

小学3年生から文字指導

小諸市では、小学校3年生から英語の文字指導が導入されています。3年生を担当しているワトキンス先生の授業を、子どもたちばかりでなく、先生達も楽しみにしています。授業の中で文字指導の時間は5分間ですが、子ども達はめきめき書けるようになっていきます。今日はどんな宿題がでるのか、子どもたちも楽しみにしています。

